

# 令和7年度取組状況

ものづくり工学科 航空宇宙工学コース (職)准教授 (氏名)草谷大郎

取組状況	
教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 5年次の卒研と4年次のゼミでは、飛ばすことを主眼として、LTA航空機やインフレーター航空機をモチーフに、PBLを実施した。ゼミでは、全日本学生飛行ロボコン出場を「目標」とするPBLを、卒研ではゼミ体験を元に、その基本技術や応用技術に関する工学的なテーマを学生個々に設定して指導した。ゼミと卒研の2チームが、全日本学生室内飛行ロボコンへ実際に出場し、ゼミチームは大会特別賞を受賞した。</li> <li>・ 授業科目： 専攻科の飛行制御特論、5年次の航空機設計法、飛行力学、振動工学実験、4年次の航空システム工学、3年時の計測工学、1年次のものづくり実習などを担当した。授業には、航空機をモチーフとした教具や実際の機器を用いた演習を取り入れた。実習や実験科目では実習機器以外に、実習説明時の理解を深めるための教材を取り入れた。タクト法によるALや現実と対比した授業、そしてシラバスの周知と、予習復習の喚起を、心がけた。</li> </ul>
研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 飛行船工学： LTA航空機やインフレーター構造航空機の、実用・応用に向けた検討を行うなかで障害となるテーマ、特に気嚢やエンベロープ、ガスセル、パロネットについて、またその膜材の特性について研究を進めるとともに、併せて事故調査データの蓄積を行っている。</li> <li>・ 飛行機工学： 実機の知見が無く、かつ教育期間に実機の使用が見込めない技術者向けの、航空機シミュレータに関する研究を進めた。授業をとおしてシミュレータの構築を進め、今年度は、多人数での授業に必要な環境について検討を行い、視覚的・聴覚的な環境を整備した。来年度へ繋げる。</li> </ul>
社会貢献	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ブイヤント航空懇談会(日本を代表する飛行船研究団体)代表幹事として飛行船業界を牽引している。</li> <li>・ NPO法人 日本マイクロライト航空連盟(JML)の特別委員としてスポーツ航空の安全を、技術的に支援している。</li> <li>・ 社団法人 日本航空宇宙学会の、スカイスポーツ委員会と、全日本学生室内飛行ロボットコンテスト委員会の、委員として学会を支援している。</li> <li>・ 東京都産業労働局の技能照査試験問題審査委員や、雇用就業部現場訓練支援事業 指導支援者(機械・溶接部門、建築・設備部門)として、東京都を支援している。</li> <li>・ 都立大学発ベンチャー1号(株式会社TMIT)の顧問として研究管理分野を支援している。</li> </ul>